



開一研究通信

令和7年11月17日
開進第一小学校
校長 海老沼 寛之
No. 5 研究推進部

研究主題

個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業づくり

第3回研究授業

理科 「物のとけ方」 5年1組

授業

手だて① 「指導の個別化」

★自分の力に合った考察の立て方を選択する。

ヒントカードを選ぶ。

- ・キーワード
- ・話型
- ・穴埋め
- ・選択式

手だて② 「学習の個性化」

★自分で溶かしてみたいものを選ぶ。



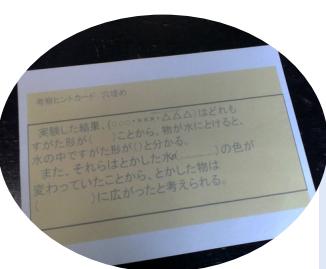
協議会

成果

- ①溶かすものを選んだことは、児童が主体的に考えることに効果的だった。
- ②ヒントカードは、時間内に考察を書き、自信をもつことに繋がった。

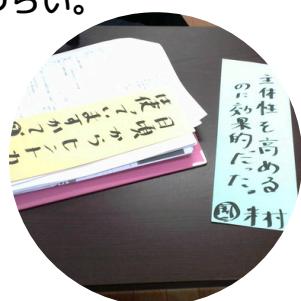
課題

- ①自分のレベルに合ったヒントカードを選ぶのが難しい児童がいた。
- ②ヒントカードにより、どのくらいの思考を働かせて書いたのか等が評価しづらい。



今後の取組

- ①ヒントカードの形式や、出し方は今後、調整する。
- ②考察は、予想と比べて考えさせるようにする。
- ③児童が主体的に学習に取り組めるよう、今回のように教科書にとどまらない内容を検討する。



授業では、児童が溶かすものを自ら選択し、主体的に活動を進める姿が見られました。また、考察を書くことに苦手意識をもつ児童も、ヒントカードを活用することで自分の考えを整理し、最後まで文章にまとめることができました。今後も、自分で選択肢、学びの調整をしながら学習できる場の設定を続けていきます。